

がん等治療を受ける前に歯科に行って
口の中をチェックする事は
とても大切なことです。

まずはかかりつけの歯科でお口の中をチェックしてもらいましょう。その際は、全身状態の把握のために、がん等主治医の先生から、今の体の状態や今後の治療予定について歯科の先生宛にお手紙を書いてもらい、持参しましょう。

(治療は保険内で行われます)

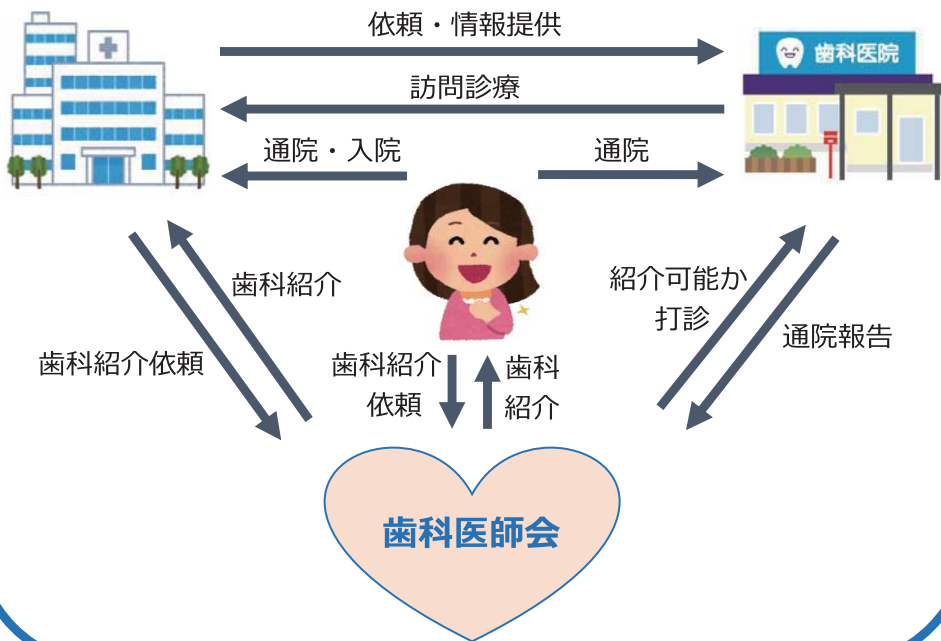
かかりつけの歯科がない場合は、お住まいの歯科医師会または福岡県歯科医師会へご相談いただければ、歯科医院のご紹介をいたします。

がん等の治療を受ける前に

(化学療法・放射線療法・緩和ケアの治療を受ける方へ)



医科と歯科が連携してお口の中を管理していくことで
治療をより成功へと導いていきます。



公益社団法人 福岡県歯科医師会

お住まいの歯科医師会の連絡先について、詳しくはWEBで！

あなたの地域の福岡県歯科医師会



(令和7年12月)



〒810-0041
福岡県福岡市中央区大名1丁目12番43号
Tel 092-771-3531

お口の中を清潔にしておくことは がん等治療の助けになります

お口の中 きれいにしていますか？



がん等の手術や治療中は免疫力が低下する傾向があり、さまざまな細菌に感染しやすい状態になることがあります。感染して肺炎など他の病気にかかるると本来のがん等の治療が続けられなかったり、入院が長引く原因となります。



 治療に入る前までに歯科で歯をきれいにしてもらいましょう。また自分でもお口の中のお手入れを続けましょう。

グラグラした歯はありませんか？



グラグラと動いている歯があると、全身麻酔での手術中に口の中に入れる管に歯が当たって、欠けたり抜けたりすることで、大事な歯を失ってしまうことになります。




 心配な歯があれば、歯科に相談しましょう。

がんの治療中に起こりやすいお口のトラブル

がんの治療に使われるお薬や放射線の影響で、重度の口内炎ができたり、口が渇いたりすることがよくあります。



 症状が出てしまっている場合の対処法や痛みの軽減方法を歯科でお尋ねください。

口から食事がとれるように

お口の機能が低下すると、食事や会話がしにくくなり体力・気力ともに落ちてしまい、今までどおりの生活がむずかしくなります。

 できるだけ病気になる前の生活に近づくように、歯科ではお口の機能をとりもどすお手伝いをいたします。



歯科で行うがん等治療の準備



○ 検査

歯、歯ぐき、粘膜等、お口全体の検査を受けましょう。むし歯や歯周病がある場合は、がん等の主治医の先生と相談しながら、可能な範囲で必要な処置を行います。義歯を使用している場合、義歯による傷ができていないか義歯が破損していないかを確認してもらい、必要に応じて調整をしてもらいましょう。



○ よごれの除去

歯石や歯垢（プラーク）の除去を行います。お口の中が不潔な状態では、がん等治療の効果の妨げとなることがあります。治療前は清潔な状態で臨みましょう。



○ 口腔衛生指導

ひとりひとりお口の中の状態は違います。あなたにあった歯磨き方法や、ケアの方法をマスターしましょう。特に抗がん剤治療や放射線治療ではお口の中の粘膜に炎症が起こったりお口が乾燥しやすくなります。それらのトラブルを防ぎ和らげるために必要なケアの方法をお伝えいたします。



○ 継続的な歯科受診

治療終了後も定期的に歯科医院を受診しお口を清潔に保ちましょう。

(保険診療で行うことができます)



総入れ歯だから歯医者に行かなくてもいいのかな？

入れ歯の調整やお手入れ、口の粘膜のお手入れも大切なので、ぜひ行ってください。

